

2021年5月11日

報道関係者各位

<特別展のご案内>

The SAMURAI

— サムライと美の世界 —

会期：2021年10月2日（土）～2022年2月27日（日）



岡田美術館（館長・小林忠）は、2021年10月2日（土）～2022年2月27日（日）まで、特別展『The SAMURAI —サムライと美の世界—』を開催します。

本展では、頼朝・義経など語り継がれた源氏のヒーローたち、威儀を正して参列する諸大名、勇壮な馬追の祭礼や凄惨な合戦の様子など「武士を描く絵」を中心に、渡辺華山や歌川（安藤）広重など「武士階級の画家が描いた絵」、また武家・武芸に関わる屏風など、武士をテーマとする絵画に工芸品を併せて約30件を展示します。

源平の栄枯盛衰を豪華絢爛に表現した「平家物語図屏風」や、源義経、静御前、武蔵坊弁慶を描いた葛飾北斎による「堀河夜討図」などの名品に加え、2021年が武士の画家として名高い渡辺華山の没後180年の節目にあたることに因み、代表作「虫魚帖」（重要文化財）も公開します。

箱根という、源頼朝や曾我兄弟ゆかりの箱根神社を山上に戴き、石橋山古戦場や小田原城などに近く、武士の歴史との関わりが深い土地柄に建つ当館で、日本の歴史を築いてきたSAMURAIと美の世界を辿ります。

見どころ1 義経！ 頼朝！ 義仲！：源氏のヒーロー結集

2022年の大河ドラマでも再注目！源氏の武将とその家来たちが描かれた作品が勢揃い

見どころ2 凄惨な合戦 VS. 華麗な行列と祭礼

時代によって異なる武士の姿

見どころ3 武士階級の画家が結集

渡辺華山、歌川（安藤）広重など、武士でありながら画才を発揮した画家たちに注目

【特集展示】中国の青磁 初公開2件を含む、青磁 約31件を一堂に展示

見どころ1 義経！ 頼朝！ 義仲！：源氏のヒーロー結集

2022年の大河ドラマでも再注目！源氏の武将とその家来たちが描かれた作品が勢揃い

源頼朝と義経兄弟、その従兄・義仲、彼らの祖父の祖父（または曾祖父）源義家とその弟・義光（系図参照）。義経に従った怪力の武蔵坊弁慶と弓の名手・那須与一。語り継がれる源氏の武者とその家来たちが、東北（秋田県）から四国（香川県）まで、日本各地でドラマを繰り広げている様が、展示作品の中に見られます。2022年の大河ドラマの主人公・北条義時の若き日々をめぐる登場人物にもご注目ください。

『平家物語』全12巻の各巻から1場面を選び、右隻に1～6巻、左隻に7～12巻の場面を描いた屏風



①「平家物語図屏風」（一双のうち左隻）江戸時代前期 17世紀中頃



【左上】香川県 屋島
弓の名人・那須与一
平家の軍船に掲げられた扇の的を見事射落とす。



【右上】富山・石川県境 くりからとうげ
源（木曾）義仲
平家軍を断崖から転落させて大勝。



【左下】京都府 六条堀川の義経邸
源義経と武蔵坊弁慶
頼朝が命じた夜討を受け、勇猛に戦い勝利。



【右下】神奈川県 鎌倉の鶴岡八幡宮
鎌倉幕府を開いた源頼朝
後白河法皇より征夷大将軍に任ぜられる。

見どころ2 凄惨な合戦 VS. 華麗な行列と祭礼

時代によって異なる武士の姿

戦国時代以前の「戦の時代」と江戸時代の「泰平の世」では、武士の役割が様変わりしました。敵の首を取ることが手柄であった戦の現実を伝える珍しい屏風や、戦国の世を生き延びて絵師となった岩佐又兵衛の存在は、「戦の時代」を象徴するものです。一方、行幸に参列する武将や野馬追の祭礼に集う武士たちの絵は、「泰平の世」を支えた武士の姿を伝えています。

凄惨な武士の世界



④「合戦図屏風」桃山～江戸時代初期 16～17世紀
首や胴が切れ血しぶきが飛ぶ合戦の様子。『太平記』の話で、琵琶湖周辺や京都が舞台と考えられている。



⑤岩佐又兵衛「堀江物語絵巻断簡」江戸時代前期 17世紀中頃
岩佐又兵衛は、信長に謀反を起こした武将・荒木村重の子。一族が惨殺された中を生き延びて絵師となった。

華麗な武士の世界



⑥「二条城行幸図屏風」江戸時代前期 17世紀
寛永3年(1626)9月、後水尾天皇の行幸の盛観。徳川御三家や伊達政宗・前田利常など武将たちも威儀を正して参列する。



⑦「相馬野馬追図屏風」江戸時代中期 18世紀
福島ので現代に続く勇壮な祭り。右隻中央は騎馬武者による「野馬追」の様子。左隻左方の館では藩主が立って見物する。

見どころ3 武士階級の画家が結集

渡辺崋山、歌川（安藤）広重など、武士でありながら画才を発揮した画家たちに注目

江戸時代には武士階級の画家が数多く活躍しました。中でも没後 180 年の節目を迎える渡辺崋山は、武士の職務を勤勉に務めながら描き続けた画家です。浮世絵師・歌川（安藤）広重が定火消同心（防火・警護を務める下級役人）の家職を離れたのは数え年 36 歳の時で、有名な「東海道五十三次」を世に出したのはその翌年のことです。出家した酒井抱一、脱藩した浦上玉堂などと併せ、さまざまな形で武士の身分・職分との折り合いをつけながら画才を発揮した画家たちに注目します。



⑧渡辺崋山
「虫魚帖」のうち（鶏頭にとんぼ）
天保 12 年（1841）
重要文化財
*会期中ページ替あり

〔三河国田原藩の家老職〕 渡辺崋山

数え年 49 歳で切腹した忠義の画家の傑作。
自刃直前に描き弟子の椿山に託した。



つぼきちんざん てんせんず
椿山「天僊図」
嘉永 5 年（1852）

〔槍組同心から画家に〕 椿山

崋山の弟子として深く信頼された椿山の大作。



⑨歌川（安藤）広重
「東海道五十三次 日本橋」（朝之景）
天保 4～5 年（1833～34）
【展示期間：10/2～11/18】

〔定火消同心から画家に〕 歌川（安藤）広重

有名な東海道五十三次シリーズの始まりは参勤交代の大名行列。



⑩酒井抱一「月に秋草図屏風」
文政 8 年（1825）

〔姫路藩主酒井家の次男〕 酒井抱一

数え年 37 歳で出家し、絵や俳諧など風雅の道に生きた抱一の
情趣に富んだ屏風（もと襖絵）。



さんろ いっしやず
浦上玉堂「山雨一酒図」
江戸時代後期 19 世紀

〔岡山の備中鴨方藩の藩士〕 浦上玉堂

数え年 50 歳で息子 2 人を連れて脱藩。
琴・詩・画に優れた玉堂の山水画。

特集展示 中国の青磁 初公開 2 件を含む、青磁 約 31 件を一堂に展示

悠久の歴史を誇る中国陶磁のなかで、長い年月をかけて豊かな発展をとげてきた青磁。古来、理想の色を探求しながら、洗練された形・文様のさまざまな青磁を高度な技によって生み出してきました。青磁は、中国歴代の皇帝たちが珍重してきた崇高なやきものです。

本特集は、戦国時代（紀元前 5～紀元前 3 世紀）の原始青磁、三国～南北朝時代（3～6 世紀）の古越磁、宋～明時代（10～17 世紀）の越州窯・耀州窯・汝窯・龍泉窯という、誕生から隆盛期におよぶ約 31 件の作品（うち初公開 2 件）を一堂に展示します。とりわけ、中国陶磁の「黄金時代」と評される宋時代の青磁の競演は見どころです。時代や産地によって異なる色と質感をそなえた青磁の“美”の変遷を探ります。やきものに詳しい方、入門の方の双方がお楽しみいただける作品解説を併置し、普段触れる機会の少ない中国の青磁の世界をご紹介します。

**北方青磁の代表格
見事な彫りに注目！**



「青磁刻花牡丹唐草文水注」
耀州窯 五代～北宋時代
10～11 世紀

**国内私立美術館で唯一！
青磁の最高峰・汝窯**



①「青磁鉢」
汝窯 北宋時代 11～12 世紀

**古来、日本人が愛してきた
青磁の傑作**



「青磁貼花牡丹唐草文瓢形瓶」
龍泉窯 南宋～元時代
13～14 世紀

【庭園について】

10 月下旬から 11 月中旬にかけては、日々色付きを変える紅葉を楽しみながらの散策もおすすめです。箱根の美しい自然に包まれ、日常の喧騒を忘れる時間を過ごすことができます。



⑫紅葉



【開催要項】

展覧会名 The SAMURAI — サムライと美の世界 —
会期 2021年10月2日(土)～2022年2月27日(日)
休館日 2021年12月31日(金)、2022年1月1日(土)
主催 岡田美術館
所在地 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
入館料 一般・大学生2,800円(2,550円) 小中高生1,800円(1,550円)
※()内は前売り料金。前売券(JTBレジャーチケット、チケットぴあ)は、
主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売

講演会

- サムライの文人画 浦上玉堂と渡辺崋山
日時：2021年11月13日(土) 13:00～14:30
講師：小林 忠(岡田美術館 館長)
- サムライの浮世絵 細田・鳥文斎栄之と安藤・歌川広重
日時：2022年1月8日(土) 13:00～14:30
講師：小林 忠(岡田美術館 館長)

※電話申込 TEL：0460-87-3931
参加費無料(要入館料)

関連講座

- 武士を描いた絵画 —源平の絵を中心に—
日時：2021年12月4日(土) 13:00～14:30
講師：小林 優子(岡田美術館 主任学芸員)

特集展示スライドトーク

- やきもの鑑賞ガイド —中国の青磁編—
日時：2021年10月23日(土) 13:00～14:00
講師：佐藤 有沙(岡田美術館 学芸員)

※申込不要/参加費無料(要入館料)

ギャラリートーク

◎館長によるギャラリートーク：2021年10月14日、11月4日・18日、12月9日・23日、
2022年1月13日・27日、2月10日・24日
いずれも木曜日 13:30～

◎学芸員によるギャラリートーク：2021年10月15日～2022年2月18日(12月31日(金)を除く)
毎週月曜日：特集展示「中国の青磁」 毎週金曜日：特別展「The SAMURAI」 各日 11:00～

※申込不要/参加費無料(要入館料)

【次回展予告】花鳥風月 名画で見る日本の四季 前期：2022年3月5日(土)～7月10日(日)
後期：2022年7月16日(土)～12月18日(日)

※新型コロナウイルス感染防止のため、展示内容や各種イベントを変更する場合があります。
最新情報は、当館ホームページもしくは広報担当までお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】

岡田美術館 広報担当：山口・近森 TEL：0460-87-3931 FAX：0460-87-3934 E-mail：pr@okada-museum.com

※展示替えによる休館中(9月27日～10月1日)は留守番電話となります。お問い合わせは上記メールアドレスをご利用ください。

【岡田美術館について】

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。日本で受け継がれてきた美術品を大切に守り、美と出会う楽しさを分かち合い、次代に伝え遺したい、との願いから、美術館が構想されました。美術館の正面を飾るのは、現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた縦12m、横30mに及ぶ風神・雷神の大壁画「風・刻（かぜ・とき）」（2013年）です。他にも深見陶冶氏、諸井謙司氏、樂雅臣氏など、現代作家の作品が屋内外に展示され、来館者をお迎えます。その他付帯施設もお楽しみください。



大壁画

琳派の祖ともいえる俵屋宗達の「風神雷神図屏風」をもとに、日本画家・福井江太郎氏が現代に甦らせました。構想も含め5年の歳月を掛けて制作した大壁画「風・刻」が、皆様をお迎えます。

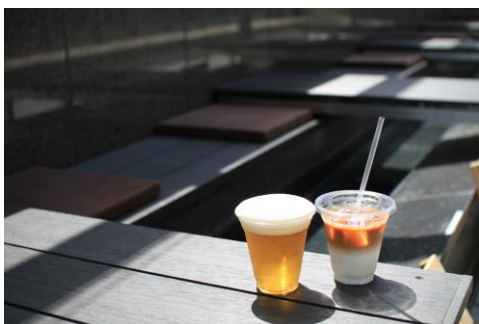
⑬美術館外観



開化亭

昭和初期の日本家屋を改装した風流な飲食施設「開化亭」は、明治半ば、この地にあった外国人向けホテルにちなんで名づけられました。趣ある古いガラス戸の向こうには、2か所に滝が流れ落ち鯉が回遊する池と、季節によって表情を変える庭園の木立が広がっています。「名物豆アジ天うどん」をはじめ、各種ドリンクなどをご用意しています。

⑭開化亭（秋）



足湯カフェ

風神・雷神の大壁画を前にした100%源泉かけ流しの足湯カフェでは、コーヒー、ビール、おしるこなどをお楽しみいただけます。中でも静岡県産の茶葉を使用した和紅茶は、「食のオスカー」とも呼ばれる『Great Taste Awards (英)』で金賞を受賞した逸品です。

⑮足湯カフェ



ミュージアムショップ

「美術館の感動を日常でも楽しめる」をコンセプトに、さまざまなオリジナルグッズをご用意しています。「The SAMURAI」展では、大人用のぬり絵「岡田美術館 名品撰ぬり絵」がおすすめです。歌川広重の「東海道五十三次 箱根」（湖水図）や江戸の遊女を描いた喜多川歌麿の「三美人図」など塗りごたえのある作品が揃います。子ども用のぬり絵も販売しており、当館ならではのお土産としてご好評をいただいております。

⑯ぬり絵（大人用）：900円（税込）

The SAMURAI — サムライと美の世界 —

広報用画像

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
- * ご使用後 2 週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
- * web 掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
- * 作品写真には「岡田美術館蔵」、作者名、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。
スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
- * ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたは FAX でお送りください。校正期間は中 3 営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- ※ 下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。

			
① 平家物語図屏風（左隻部分）	② 堀河夜討図（部分）	③ 「八幡太郎義家奥州征伐図詩絵料紙硯箱」のうち（料紙箱蓋表）	④ 合戦図屏風（部分）
			
⑤ 堀江物語絵巻断簡（部分）	⑥ 二条城行幸図屏風（部分）	⑦ 相馬野馬追図屏風（部分）	⑧ 「虫魚帖」のうち（鶏頭にとんぼ・部分）
			
⑨ 「東海道五十三次 日本橋」 （朝之景）	⑩ 月に秋草図屏風	⑪ 青磁鉢	⑫ 紅葉
			
⑬ 美術館外観	⑭ 開化亭（秋）	⑮ 足湯カフェ	⑯ むり絵（大人用）

FAX

0460-87-3934

E-mail

pr@okada-museum.com (岡田美術館 行)

The SAMURAI — サムライと美の世界 — 広報用画像データ貸出申込書

プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	「平家物語図屏風」(左隻部分) 江戸時代前期 17世紀中頃 岡田美術館蔵
	2	葛飾北斎「堀河夜討図」(部分) 江戸時代後期 19世紀前半 岡田美術館蔵
	3	象彦(八代西村彦兵衛) / 瀬川嘯流「八幡太郎義家奥州征伐図蒔絵料紙硯箱」のうち(料紙箱蓋表) 明治～昭和時代 19～20世紀 岡田美術館蔵
	4	「合戦図屏風」(部分) 桃山～江戸時代初期 16～17世紀 岡田美術館蔵
	5	岩佐又兵衛「堀江物語絵巻断簡」(部分) 江戸時代前期 17世紀中頃 岡田美術館蔵
	6	「二条城行幸図屏風」(部分) 江戸時代前期 17世紀 岡田美術館蔵
	7	「相馬野馬追図屏風」(部分) 江戸時代中期 18世紀 岡田美術館蔵
	8	渡辺華山「虫魚帖」のうち(鶏頭にとんぼ・部分) 天保12年(1841) 重要文化財 岡田美術館蔵 *会期中ページ替あり
	9	歌川(安藤)広重「東海道五十三次 日本橋」(朝之景) 天保4～5年(1833～34) 岡田美術館蔵 【展示期間: 10/2～11/18】
	10	酒井抱一「月に秋草図屏風」 文政8年(1825) 岡田美術館蔵
	11	「青磁鉢」 汝窯 北宋時代 11～12世紀 岡田美術館蔵
	12	紅葉
	13	美術館外観
	14	開化亭
	15	足湯カフェ
	16	ぬり絵(大人用): 900円(税込)

申し込みフォーム *お名刺の添付でも構いません

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	放映エリア/ 発行部数	
画像データ 必要期限	年 月 日		

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください